

# 国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの  
メッセージ



## 将来につながる多くの人とのつながり、そして経験

鳥取県商工労働部兼農林水産部市場開拓局販路拡大・輸出促進課 田村 佳利

### 初めての国際分野・クレアへ

私自身は農業職であり、就農者への普及支援や園芸作物の試験研究が専門ですが、クレア派遣の数年前、民間の量販店に出向した経験があります。その時に、自分自身がいかに狭い視野で物事を考えていたか、経験を広げることがいかに大切かということに気が付きました。そんななか、クレア派遣の事を知り、自分の専門ではない国際分野の業務へ挑戦することを決断しました。

### 経済交流課での2年、そして北京へ

初めての分野の業務に戸惑いもありましたが、同僚に支えられながら、自治体の海外販路開拓やインバウンド関連の取り組みをサポートする事業を数多く経験させていただきました。多くの自治体の人々とのつながりを持つことができた東京本部での2年間は、私にとって将来につながる非常に大きな財産となりました。当時の同僚とはプライベートでのつながりも深く、今でもよく連絡を取り合っており、自治体の垣根を越えて仕事の相談などもしています。また、本部勤務1年目の冬に始まった新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、オンライン対応など事業の仕組みそのもの見直しや在宅ワークへのシフトといった大きな社会的変化への適応が必要になるなど、多くの経験が濃密に詰まった2年間でした。

そのなかで、厳しい水際対策が行われていた中国へ赴任したわけですが、GPSと連動したアプリで個人の健康状態などが管理されていた中国国内では、出張先でコロナ感染者が出たというだけで隔離対象になる可能性があったため、出張一つとっても出張先の感染者数を事前に確認して延期するなどのリスク管理が必要でした。一見過ごしにくいように思えるかもしれませんが、感染者が出ていない地域の経済活動に制限はなく、県人会をは

じめとした飲み会などは自由に開催できるなど、メリハリもありました。日本の施策との違いを体験できた、貴重な経験でした。また、北京事務所では、農業職として滅多に経験することのない各省市政府と関わる業務を多く経験させていただきました。文化の違いを肌で感じられたことや相手政府へのプレゼンといった経験をさせていただいたことで、自分自身の経験が深まり、視野がさらに広がるなど、大きな収穫となりました。



河北省で県の紹介を行う様子

### 帰国後の業務

帰国後は県産品の輸出拡大を目的とする部署で、アジア圏を中心とした国々への輸出支援策を立案、実施しています。特に鳥取県と直行便などでつながる香港、台湾といった中国語圏を担当しており、クレアで培った語学力と国際感覚を活かして、現地輸入事業者との関係構築など、輸出拡大に向けて積極的に取り組んでいます。クレアで得た経験は、今後自分ができるような業務を担当することになったとしても、大きな力になると思っています。



台北・新光三越にて梨の販促団とともに

### プロフィール・ほか

- クレア在籍時の所属：  
2019年4月～2021年3月 交流支援部経済交流課  
2021年4月～2022年3月 北京事務所